

令和元年

Y 8 サミット創快横手市議会

政策提案

令和元年Y8サミット創快横手市議会 政策提案目次

- (1) Y8提案第1号 冬のスポーツ・文化行事について
(横手南中学校からの提案) 1ページ

- (2) Y8提案第2号 廃校を活用した学び・運動・文化の総合交流施設について
(横手北中学校からの提案) 2ページ

- (3) Y8提案第3号 少子高齢化に伴う伝統文化の継承者不足について
(増田中学校からの提案) 3ページ

- (4) Y8提案第4号 フォトコンテストのInstagram活用について
(平鹿中学校からの提案) 4ページ

- (5) Y8提案第5号 横手市移住推進大作戦について
(横手明峰中学校からの提案) 5ページ

- (6) Y8提案第6号 十文字地区新庁舎及び廃校の有効活用による地域活性化と
観光客の呼び込みについて
(十文字中学校からの提案) 6ページ

- (7) Y8提案第7号 次世代へと繋がる地域づくりについて
(横手清陵学院中学校からの提案) 7ページ

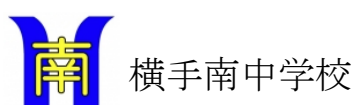
Y 8 提案第 1 号

冬のスポーツ・文化行事について

横手南中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年 1 1 月 1 4 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



〔提案説明者〕 たかはしかいと 高橋海音 議員、 やまもとこうよう 山本航陽 議員、 さとひろな 佐藤広菜 議員

〔提案要旨〕

例年、本校の中学 2 年生では、横手市内の事業所や施設で職場体験を行っている。その際、横手市内で働く方々から「横手市で暮らし、働いて感じる課題」をアンケートした。そこで共通して出てきた課題として、第一に「かまくらに代表される観光資源でもありながら、害をもたらす雪」、第二に「進行する少子高齢化と地域の絆の希薄化」、第三に「横手市を訪れる人口である交流人口の増加から、横手市に暮らす定住人口の増加の必要」というものがあつた。

これらの課題から、「冬に雪と親しむ行事を考えられないか。また、世代を超えて地域の絆を深め、他地域の人々も横手や雪に魅力を感じてくれる企画は出来ないか」との考えに至つたため、これまでに実施している雪中運動会に屋内での文化的種目を追加した、全世代型参加型事業「冬の横手スポカル※フェス」の実施について提案する。

※「スポカル」とは「スポーツのスポ、文化（カルチャー）のカル」から命名。

Y 8 提案第 2 号

廃校を活用した学び・運動・文化の総合交流施設について

横手北中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年 11 月 14 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手北中学校

〔提案説明者〕 まつた こうえい 松田康永 議員、 さとう たけと 佐藤岳人 議員、 やまいし まち 山石真智 議員

〔提案要旨〕

横手北中学校では、校内で「将来も秋田に住みたいか」というアンケートを行ったところ、「秋田から出たい」と答えた人の理由は「秋田が嫌だから」ではなく、「秋田が住みにくいから」であった。子育てがしやすい環境を作り、幅広い世代の交流のため、以下の様な廃校舎を活用した学び・運動・文化の総合交流施設を作ることを提案する。

1. プール施設の整備と開放について

廃校舎のプールを整備して一般開放することで、「スポーツ立市よこて」の発展につなげてはどうか。特に旧山内中学校は 50 メートルのプールであり魅力がある。

2. 廃校舎の利用について

廃校舎を活用し、習い事や自習スペース、地域住民の学びの場・憩いの場を作ってはどうか。また、自分の持っている知恵を若者に伝えたい地域の方や、勉強を教えられる方を募集すれば、幅広い世代が交流を持ち、学力の向上も期待できると考えるがどうか。

3. 体育館整備と開放について

廃校舎の体育館を整備、解放することでスポーツ少年団などのチームや、チームに所属していない人にも広く体育館を使ってもらい、「スポーツ立市よこて」を盛り上げ、市民の運動意欲向上にもつなげられると考えるがどうか。

Y 8 提案第 3 号

少子高齢化に伴う伝統文化の継承者不足について

増田中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年 11 月 14 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



増田中学校

〔提案説明者〕 いとう ゆき の 伊藤結姫乃 議員、 たかはし ゆう 高橋優 議員、 みうら れい 三浦怜生 議員

〔提案要旨〕

増田町では毎年 8 月に「増田の盆踊り」という伝統的な祭りを行っている。しかし、年々参加者が減ってきており、大人数で踊るという魅力が失われつつある。実際、今年度私たちも初めて参加してみたが、やはり大人が多く、子供がかなり少ない印象だった。このように、増田の盆踊りだけではなく、他地域の伝統文化や祭りの継承者が不足している。これは地域の魅力を守っていくうえで大きな課題であるため、対策として以下について提案する。

1. 伝統文化を学ぶ機会の確保について

学校に講師の方などを招いて、その地域の伝統文化や祭りについて学び、体験する機会を作れば伝統文化に興味をもつ人が増えると考えられる。また、市と地域と学校が一体となって伝統文化を継承する機会を設け、継承していく次世代の担い手を育成する活動を行ってはいかがか。

2. 市報活用（伝統文化紹介コーナーの新設）について

「市報」に毎回特設コーナーのようなものを設け、横手の様々な伝統文化を紹介してみたいはいかがか。市報に載せることで多くの人が目にすることができ、興味・関心を持つきっかけになると考える。

Y8 提案第4号

フォトコンテストのInstagram活用について

平鹿中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年11月14日 提出

横手市中学校Y8サミット



平鹿中学校

〔提案説明者〕 ^{とだひびき}戸田 響 議員、 ^{こすぎひかる}小杉 光 議員、 ^{かわさきともみ}川崎知己 議員

〔提案要旨〕

平鹿中学校では、総合的な学習の時間に、ふるさと横手について多方面から考える学習を行っている。6月には、全校で学年の垣根を越えた5～6人のグループを作り、学習旅行や修学旅行の旅行先と横手市を比べて感じたことや考えたことを発表する「輝きトーク」を行った。その「輝きトーク」の後半に「横手市に必要なものって？」というテーマで話し合いを行ったところ、多くの生徒から出てきたのが、市外から人を呼び込むためにSNSを利用して横手市のPRを行えば良いのではないかという声であった。このことから、現在も横手市で行われている「『いいね！』“撮っておき！！”な、よこてフォトコンテスト」に、Instagramの写真部門、動画部門を設けることを提案する。

Y 8 提案第 5 号

横手市移住推進大作戦について

横手明峰中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年 11 月 14 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手明峰中学校

〔提案説明者〕 ^{たにぐちまこ} 谷口真子 議員、 ^{ささきしゅうへい} 佐々木 柊平 議員、 ^{うえた} 上田あい 議員

〔提案要旨〕

今までの Y 8 で他校の仲間と話合ってきた中で、私たちが特に注目した課題は、横手市の人口減少問題である。この問題を改善するためには、市外から移住する人をどのように呼び寄せるかだと考える。都会と比べると、ここ横手では子供たちが伸び伸びとした生活が送れると思う。自然が多く残っていたり、ほとんどの住宅地はたくさんの緑に囲まれているので、小さい子供たちが成長するために適している環境だということなどをアピールするため、「横手市移住推進大作戦」の実施について提案する。

「横手市移住推進大作戦」は、1 年に 10 家族ほど、横手に住む体験家族を募集するものである。横手は四季折々の特徴があるので、好きなシーズンに 1～2 週間ほどの期間で滞在していただき、横手の魅力をアピールするとともに、移住が決まったご家族を市が手厚く応援し、人口減少に歯止めをかけようとするものである。

Y 8 提案第 6 号

十文字地区新庁舎及び廃校の有効活用による地域活性化と観光客の呼び込みについて

十文字中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年 1 1 月 1 4 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



十文字中学校

〔提案説明者〕 ^{さとうたくま}佐藤琢磨 議員、^{いといそうた}糸井颯太 議員、^{ふじかわみすず}藤川美涼 議員

〔提案要旨〕

1. 十文字第一小学校廃校による跡地の有効活用

地域に異年齢の交流の場や観光客が少ないことを問題と考え、閉校後の十文字第一小学校を、カフェ、レンタル会議室、オフィス、図書館などの複合施設として活用するとともに、グラウンドでは定期的に朝市を開くことを提案する。

2. 十文字地区新庁舎の有効活用

十文字地区では 1 9 9 1 年から十文字映画祭を開いている。しかし、現在イベントを行っている会場の十文字文化会館は老朽化が進んでいるため、新庁舎建設の際に映画の上映が可能なスペース、設備を作り、十文字映画祭などのイベントの際に開放することを提案する。

3. SNS を活用した横手市 P R

横手市の魅力的な観光資源を P R してもらおうという発想が必要ではないか。横手市のフェイスブックのフォロワーは他市に比較してもかなり多い。これに加えて、ツイッターやインスタグラムを活用して市のイベント的なことだけでなく、一般の方が注目しやすい市の魅力を発信してはどうか。

Y 8 提案第 7 号

次世代へと繋がる地域づくりについて

横手清陵学院中学校から次のとおり政策提案する。

令和元年 11 月 14 日 提出

横手市中学校 Y 8 サミット



横手清陵学院中学校

〔提案説明者〕 たなかゆい 田中唯 議員、 さとうそうた 佐藤颯太 議員、 はんだひなた 半田日向 議員

〔提案要旨〕

横手清陵学院中学校では、多くの若者が集う次世代へと繋がる地域づくりを目的に『Mirai Plan (ミライプラン)』を提案する。内容は、横手駅周辺の市街地開発事業における「中高生の意見を取り入れた図書館建設について」である。横手清陵学院では、中高一貫校の強みを生かし、中高生へアンケートを実施した。その結果を踏まえて次の通り提案する。

1. デザイナーズライブラリーの建設について

デザイナーズライブラリーというのは、デザイン性・利便性に優れた図書館のことであり、デザイン性に優れた建物ならば、映画のロケ地になったり、横手市のランドマークになると考えるので、図書館のデザインを公募するデザインコンペの開催を提案する。

2. 複合型図書館について

『スタディカフェ』や『学生専用スペース』を備えた図書館があれば、横手駅周辺に若者が集い、活性化するのではないかと考える。また、学校帰りの生徒が電車を待つ時間を利用して学習するため、閉館時間は午後 9 時程度であることが望ましいと考える。具体的には、多賀城市立図書館のような複合型図書館が駅前にあれば、駅前の活性化が期待できると考えるがどうか。